

令和4年11月7日

保護者 各位
学校関係者各位

府中市教育委員会
教育長 酒井 泰
府中市立府中第十小学校
校長 内井 利樹

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

日頃より、府中市立学校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、文部科学省は「全国学力・学習状況調査」について、平成26年度から市町村教育委員会が当該市町村における公立学校全体の結果について公表することを可能としています。

府中市教育委員会は、児童・生徒の学力の更なる向上のためには、児童・生徒の実態に基づき課題等を明らかにし、その上で改善のための方策を具体的に描くことが重要であると捉えております。また、改善の取組は、学校だけが行うのではなく、家庭と一体となり地域とともに行うことが必要であり、市教育委員会は、学校、家庭、地域の「学力向上」に関わる改善の方策を支援するための施策に取り組むことが重要であると考えております。そのためには市教育委員会及び学校が、保護者や学校関係者に説明責任を果たさなければならないと考えております。

以上の考えから、市教育委員会は、同調査の結果を次のとおり公表することといたしました。同調査の結果に関する公表内容を御覧いただき、児童・生徒の学力向上の取組についての一層の御理解と御協力をくださいますようお願い申し上げます。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象とする児童・生徒

小学校調査：小学校第6学年

中学校調査：中学校第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

小学校調査：国語、算数、理科

中学校調査：国語、数学、理科

- ・平成31年度から、身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望

ましい知識・技能等と、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容を一体的に問うこととしている。

- ・ 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査の方式

悉皆調査

(5) 調査日

令和4年4月19日（火）

2 公表の内容

(1) 市教育委員会

ア 全国・東京都・府中市の教科別の平均正答率及び中央値

イ 分析（主に成果や課題があった設問）及び学力向上を図るための改善策等

ウ 学校質問紙調査、児童質問紙調査から抜粋した設問と選択肢毎の回答状況

(2) 学校

ア 全国・東京都・府中市・学校の教科別の平均正答率及び中央値、無解答率、学習指導要領の領域別正答率、成果や課題があった主な設問

イ 分析及び学力向上を図るための取組等

3 公表の時期及び方法

(1) 市教育委員会の公表

令和4年10月28日（金）に、市教育委員会ホームページにて公表する。

(2) 学校での公表

令和4年10月31日（月）以降速やかに、保護者宛文書にて公表する。

4 留意していただきたいこと

(1) 調査結果は学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解ください。

(2) 学校間の過度の競争や序列化につながるようなことは公表の趣旨に反するものです。

【担当】

府中市教育委員会指導室

電話 042-335-4063